



Title	阪大法学 55巻 3・4号 目次
Author(s)	
Citation	阪大法学. 2005, 55(3,4)
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/55347
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

目次

巻頭の辞	三成賢次
動産譲渡登記制度の創設とその問題点	吉田光碩
会社役員解任と組合役員解任	山下真弘
〈ブラック・エンパワメント〉小論	河田潤一
ポイズン・ピルと株主平等原則	吉本健一
解雇をめぐる理論と実務	小寫典明
代襲相続について	松川正毅
実業同志会と大阪財界	滝口剛

公の営造物の供用関連瑕疵と警察責任……………	高橋明男……………	163
—— 機能的瑕疵防止・除去義務としての実体的警察責任の可能性 ——		
アメリカ法における大量被害不法行為訴訟へのクラス・アクションの拡大……………	藤本利一……………	181
—— 損害賠償クラス・アクションを中心として ——		
ドイツ新債務法における買主自身の瑕疵修補……………	田中宏治……………	207
EU法における「本源国法原則」とその国際私法上の意義……………	長田真里……………	227
ヨーロッパ人権条約における家族形成権・家族生活の保護……………	幡野弘樹……………	243
ガリアの英雄とナショナル・アイデンティティ……………	渡辺和行……………	263
—— 第三共和政フランスの歴史教育と国民形成 ——		
M・ヴェーバーと現代市民政治論……………	土居充夫……………	291
男女共同参画社会と政治……………	山口裕司……………	313
—— 日本の現状と課題 ——		
日本における政党政治と腐敗防止……………	李相薫……………	331

アフリカの解放闘争再考……………	戸田 真紀子……………	353
―― 周辺化された人々にとってのマウマウ闘争の意味――		
傷つく兵士……………	市川 ひろみ……………	375
―― 戦場の被害者――		
権利能力なき社団論の現在……………	後藤 元伸……………	399
―― ドイツ民法典制定過程における議論の再評価――		
フランス法における建造物責任の機能に関する一考察……………	下村 信江……………	419
信託法改正における許害信託の問題点……………	林 邦彦……………	441
一九一六年のイギリス輸出入禁止政策と日本外交……………	森川 正則……………	463
―― 戦時経済協力と通商・産業利益擁護の狭間で――		
多胡圭一教授 略歴・主要著作目録……………		490
國井和郎教授 略歴・主要著作目録……………		494